

2006年2月6日

**2006年2月8日(水)～2月28日(火)、東急世田谷線と下高井戸駅周辺の店舗で
ICカード乗車券「せたまる」を活用した沿線商店街への来店促進を実験**

東京急行電鉄株式会社
独立行政法人 産業技術総合研究所

東京急行電鉄(本社:東京都渋谷区、社長:越村敏昭)は、2006年2月8日(水)から2月28日(火)まで、世田谷線のICカード乗車券「せたまる」を活用した沿線商店街への来店促進についての実証実験を実施します。

この実験は、独立行政法人 産業技術総合研究所(本部:東京都千代田区、理事長:吉川弘之)が研究開発を進める、非接触ICカードを使った情報の入出力システムの技術を用い、世田谷線のICカード乗車券「せたまる」を媒体として行うものです。

具体的には、世田谷線の主要6駅に掲出する電子ポスター(通常のポスターに非接触ICカードのリーダー・ライター端末を装備したもの)に、世田谷線のICカード乗車券「せたまる」をタッチさせたお客さまが、東京都世田谷区松原の映画館「下高井戸シネマ」に設置されている専用リーダーに再度「せたまる」をタッチさせることで200円の入場割引が受けられ、さらに下高井戸シネマ内に設置する電子ポスターに「せたまる」をタッチさせることで、下高井戸駅周辺の参加3店舗の割引クーポン(利用の際にはクーポンに印字された簡単なアンケートへの回答が必要)をその場で入手できるというものです。

IC乗車券を使った地域商店との連携は全国で初めての試みです。東京急行電鉄では、今回の実験の利用状況やアンケート結果をもとに、IC乗車券が生活に密着した存在としてお客さまに提供できる利便性について検証するとともに、地域カードとしてのIC乗車券の今後の活用方法などについて、検討を進めていく予定です。

また産業技術総合研究所では、公的研究機関として新産業創出に繋がるような研究成果を広く社会に普及するとともに、一般利用者の方にとって共通な操作性・機能を持つ利便性の高い情報技術インフラをより広く社会に提供したいと考えています。

本実証実験の概要は、以下の通りです。

実証実験の概要

実験期間

2006年2月8日(水)から2月28日(火)まで(予定)

世田谷線の電子ポスター掲出駅

三軒茶屋、松陰神社前、世田谷、上町、山下、下高井戸(計6駅)

参加店舗

映画館「下高井戸シネマ」(東京都世田谷区松原)、居酒屋「爺」(東京都世田谷区松原)、
居酒屋「たつみ」本店・駅前店(東京都世田谷区赤堤、同杉並区下高井戸)(計4店舗)

利用の流れ

世田谷線駅ホーム(上記6駅)に掲出されている電子ポスターに「せたまる」をタッチ
下高井戸シネマへ行って専用リーダーへタッチ 入場料が200円割引に
下高井戸シネマに掲出されている電子ポスターに「せたまる」をタッチ 居酒屋「爺」
と居酒屋「たつみ」の割引クーポンを発行

(ご参考) 世田谷線 ICカード乗車券「せたまる」の概要

導入

2002年7月

特徴

世田谷線の駅改札口または電車内の乗車口に設置しているチェッカーにタッチするだけで乗車できる非接触式の IC カード乗車券です。「せたまる定期券」と「せたまる回数券」の2種類があり、「せたまる回数券」には1乗車ごとに利用日・時間帯に応じて1～4ポイントを付与し、累積ポイント10ポイントにつき1乗車分の運賃を、追加入金(チャージ)時に還元します。



「せたまる定期券」(上)と「せたまる回数券」

以上